しょうか？昨年全国和牛共進会において「義平福」の子牛が全国２位を受賞し、これから益々力を入れていかなければならないと思うので、是非継続してほしいです。

A 設立当初の目的である肥育については、達成されたものと捉えております。今後の在り方については、行政や関係機関と検討してまいりたいと思います。

Q 米産地として生き残るには、収量より食味に重点を置かなければならないと思いますが、指導体制も含めＪＡではどう考えていますか？

A 食味対策はＪＡにとっても喫緊の課題です。より具体的な取り組みを考えてまいります。

Q 他県ではどんどん水稲新品種が出てきていますが、秋田県の状況はどうなのでしょうか？

A 秋田県農業試験場から、今年度水稲新品種「秋のきらめき」「つぶぞろい」が発表になっております。なお、正式な品種登録は２年後の見込みです。「秋のきらめき」は耐冷性、耐病性の強い早生種であり、良食味米で中山間地が対象地域となっています。「つぶぞろい」は良質・多収で沿岸、内陸平坦地が普及見込み地域となります。平成27年から種子供給が始まりますので、今後ＪＡから様々な情報を提供してまいります。

Q りんどう栽培について、これまで以上に研修等の助成などもお願いしたいです。

A りんどうの作付が拡大してきており、今後も特産品振興のため助成してまいります。

Q 温暖化に対する土壌改良剤の効果について教えてほしい。

A 近年は、特に登熟期の高温対策にも有効性が実証されております。今後は、このような情報についても皆様へ提供してまいります。

Q 農機具の保管をぜひ実施してほしいですし、保管料金も早めに決定してほしいです。

A 預かり場所及び保管料金については、現在検討しておりますので、決定しましたら、皆様へお知らせいたします。

協議事項②

平成25年度経営計画のめやす（案）について

Q 種子（稲作）の支払いを、肥料や農薬と同じく秋の精算にして欲しいのですが…。

A 精算時期の状況等考慮しながら、検討してまいります。

Q 青色申告をしていますが、対応できる職員を増やしてほしいです。

A 税務申告に際し、戸別対応では時間と人員を要することから、ＪＡでは講習会を開催して、記帳指導しておりますので、ご理解のほどお願いいたします。

Q 調整水田に何かを作付しないと、米・水田活用の所得補償交付金の対象にならないとありますが、圃場には何を作付すれば良いのでしょうか？

A 加工用米も転作としてカウントされることから、ＪＡでは加工用米の作付を提案しています。また、加工用米には、国から２０、０００円／10ａの助成金も交付されますので、営農企画課、各営農センターまでご相談下さい。

Q 『人・農地プラン』の管内における進捗状況はどうなっていますか？

A 平成24年度は能代地区が４地域、二ツ井地区で１地域が作成しました。平成25年度は能代地区が３地域、二ツ井地区で10地域のプラン作成を目指しております。藤里町は町として一本で、平成25年６月作成を目指しております。

Q みょうがのリドミル剤への助成は今年もありますか？

A 能代市の助成は平成25年度が最終年度となりますので、申込受付の際はお忘れないようにお願いします。

Q 農機の展示会や各種講習会の開催においては、兼業農家も来場できるような開催日時に配慮